



## 思いやり深い羊たち

ある真夏の日、夜中に激しい雨が降り続いた。道には水が溢れて川と化していたが、私はその激流に逆らって坂道を登った。干し草の束を背負って、灯りを持ち、羊小屋に餌やりに向かったのだ。たどり着くと、羊たちは幸せそうに過ごしていた。小屋の片隅には、狐の子供が小さな体を丸めてぐっすり眠っていた。毛皮はずぶ濡れた。大雨で巣穴が崩れ、羊小屋に避難してきたのだろう。羊たちは温かく受け入れていた。

こうした自然界の共生を目の当たりにできたことは、このうえない喜びだった。実際には、私の知らないところで、同様の助け合いが無数に行われているのだろう。私は急いで自宅に戻り、カメラを持って撮影に行くようリッチに頼んだ。

それから数か月後、羊小屋のそばで狐を見かけた。大雨の日に見た子狐よりも大きく、座る姿は犬のようだ。小屋の戸口には2頭の雌羊が立っており、なごやかに狐と会話しているかのように見えた。あのときの狐に違いない、お礼を言いに来たのだと思った。

Young, Rosamund. "Compassionate Sheep." In *The Wisdom of Sheep: Observations from a Family Farm*, 43-44. New York: Penguin Press, 2024. (ロザムンド・ヤング著 「思いやり深い羊たち」『羊たち 家族農場にて』 pp.43-44 ニューヨーク ペンギン・プレス 2024年)



森狙仙 《猿に雀図》(部分) フィラデルフィア美術館